

## 緊急事態宣言後、日本で初めての大規模展示会！

コロナ禍で打撃を受けた宿泊・外食業界の活性化のため、

### 『第12回 関西ホテル・レストラン・ショー』を15年ぶりに大阪で開催

7月29日(水)9:40～、インテックス大阪にて、合同オープニングセレモニーを実施

一般社団法人日本能率協会(JMA、会長：中村 正己)ほか4主催は、2020年7月29日(水)～31日(金)の3日間、インテックス大阪(大阪市住之江区)にて、外食・宿泊・レジャービジネスの活性化を目的とした専門展示会「第12回関西ホテル・レストラン・ショー」を15年ぶりに大阪で開催します。

本展はアフターコロナの経済回復に向けて開催するもので、緊急事態宣言解除後に実施する最初の大規模展示会となります。2025年に大阪・関西万博を控えている大阪からMICE産業(※1)再起動、経済活動の再活性化を目指し、『With/After コロナ時代の観光・宿泊・飲食業』に貢献する製品、サービスの最新情報を発信します。**同時開催を含め、インテックス大阪全館を使用、合計491社830ブースが出展します。**

新型コロナウイルス感染症の影響で、観光・宿泊・飲食業界は2020年3月の延べ宿泊者数が、前年同月比49.6%減(※2)となり大きな打撃を受けています。今後は接触機会削減や、衛生管理の徹底など感染症拡大を防止しながら継続的な経済活動に取り組むことが求められます。

こうした状況の中、本展ではマスクや消毒液をはじめ、“無人搬送ロボット”、“非接触型”の体温測定器やくず入れ等の感染対策アイテムが多数展示されるほか、感染対策に関連した新たな問題を解決する“アレレギー事故防止クラウドサービス”、“マスク仮置き用紙包み”等、最新のITシステム、衛生関連製品、業務用厨房機器などが展示されます。また、『外食産業における感染症対策』『コロナ禍から学ぶホテルの衛生管理』などをテーマに全27セッションの無料セミナーが展示会場内の特設会場で実施されます。

尚、開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、安全を確保するための運営方法を講じてまいります。

#### 【第12回 関西ホテル・レストラン・ショー 開催概要】

- ・会 期：2020年7月29日(水)～31日(金) 10:00～17:00(最終日のみ16時半まで)
- ・会 場：インテックス大阪 6号館A
- ・公式サイト：<https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/>
- ・来場方法：[https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/visitors.php#visi\\_com04](https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/visitors.php#visi_com04) から事前登録制・無料
- ・展示規模：100社/180ブース (2020年7月22日現在)
- ・主 催：一般社団法人日本能率協会 一般社団法人日本ホテル協会 一般社団法人日本旅館協会  
一般社団法人国際観光日本レストラン協会 公益社団法人国際観光施設協会
- ・後 援：公益社団法人関西経済連合会 公益財団法人大阪観光局
- ・協 力：大阪府、一般財団法人関西観光本部、大阪商工会議所 一般社団法人大阪外食産業協会
- ・特別開催協力：一般財団法人大阪国際経済振興センター(インテックス大阪)

#### 【お問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 西中、吉田、金田、富浦  
E-mail：[jmapr@jma.or.jp](mailto:jmapr@jma.or.jp) TEL：03-3434-1377

## 第 12 回 関西ホテル・レストラン・ショーのみどころ（一部抜粋）

### ■アレルギー対応を IT で効率化し、業務負荷と事故リスクを低減「CAN EAT」



#### CAN EAT/ブース番号 : KE13

婚礼や宴会でのゲストのアレルギーなどのお食事制限を QR コードで、簡単に・正確にとりまとめられるクラウドサービス。

With コロナ時代の新しい業界ガイドラインにより、ビュッフェスタイルより個別の食提供が推奨される今、個別対応要望の高まりに伴い、アレルギーなどの事故リスクも高くなります。これまで IT 化が難しかったアレルギー対応を効率化して、業務負荷と事故リスク削減を提案します。

### ■配膳や荷物の運搬をロボットが代役、無人搬送ロボット「AISLE」



#### シンテックホズミ/ブース番号 : KD01

感染対策と人手不足対策を同時に実現！

ホテル内の配膳や荷物の運搬をロボットが代役。各種設定もタブレットで簡単設定できるため導入しやすく安心。

ホテル導入事例動画

<https://www.youtube.com/watch?v=Fja-2Yp-ARU>

### ■人に触れずに体表温を測定、顔認証と測定結果を記録「Quick Hygiene Terminal」



#### サン・パシフィック・エンタープライズ/ブース番号 : KD09

ピストル型検温器と異なり、人と接触をせずに自動測定し測定結果の表示(記録)が可能。そのほか With コロナ感染予防/対策製品として HACCP 対応手指殺菌装置や空間除菌消臭装置、非接触型製品も展示し「持ち込まナイ・残さナイ・さわらナイ」をキーワードに感染防止プロダクツをご紹介します。

■ 『人手不足』『SDGs』など業界課題の無料セミナー全 15 セッション（一部抜粋）

その他のセミナー情報はこちらをご覧ください

[https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/seminar.php#top\\_semi](https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/seminar.php#top_semi)

会場 インテックス大阪 6 号館 A セミナー会場/定員 150 名（公式 WEB より参加事前登録制）

<p>7月29日（水）11:00～11:40</p> <p><b>SDGs 達成に向けた関西電力のソリューション</b></p> <p>関西電力 営業本部 法人営業部門 法人営業技術グループ 副長 林 直人 氏</p>	<p>7月30日（木）13:00～13:40</p> <p><b>外食における SDGs とイノベーション ～老舗外食企業での試みや国内外事例など～</b></p> <p>大同門 代表取締役社長 フォーリー淳子 氏</p>
<p>7月31日（金）12:00～12:40</p> <p><b>2020 年 HACCP 元年 外食産業界における新型コロナウイルス対策</b> ニチフ電機 専務取締役 新調理システム推進協 会 事務局長 ロボットビジネス支援機構 理事 外食部会長 西 耕平 氏</p>	<p>7月31日（金）14:00～14:40</p> <p><b>実践事例から学ぶ ホテルの省エネ対策のポイント</b></p> <p>省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 吉村 喜代和 氏</p>

■ 宿泊・外食業界における『感染症対策』無料セミナー全 12 セッション（一部抜粋）

その他のセミナー情報はこちらをご覧ください。

[https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/seminar\\_covid19.php](https://www.jma.or.jp/hoter-es-osaka/seminar_covid19.php)

会場 インテックス大阪 6 号館 A セミナー会場/定員 35 名（公式 WEB より参加事前登録制）

<p>7月29日（水）14:00～14:45</p> <p><b>with コロナ期のサウナの安全対策と経営課題</b></p> <p>アクトパス 代表取締役 望月 義尚 氏 メトス 代表取締役 吉永 昌一郎 氏</p>	<p>7月30日（木）14:00～14:45</p> <p><b>コロナショックによる 温浴マーケットの変化と将来戦略</b></p> <p>アクトパス 代表取締役 望月 義尚 氏</p>
<p>7月31日（金）13:00～13:45</p> <p><b>新型コロナを乗り越えて勝ち残るインバウンド 戦略～苦境を好機に転換する方法とは？</b></p> <p>日本インバウンド連合会 理事長 中村 好明 氏</p>	<p>7月31日（金）14:00～14:45</p> <p><b>ニフティ温泉による調査、 新型コロナで変わる利用者の意識とは？</b></p> <p>ニフティライフスタイル 執行役員 井口 康弘 氏</p>

（法人の類省略）

## 安全確保のための運営方法について

本展開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、公益財団法人大阪観光局が発表した「感染症拡大のリスクを抑え、MICEを開催する為の主催者向けガイドライン」、日本展示会協会「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」および国際見本市連盟(UFI)の指針に基づき、安全を確保するための運営方法を講じてまいります。

運営方法の主なポイントは以下をご覧ください。

### 【運営方法の主なポイント】

- ・人数制限の実施：  
開催展示会の最大収容人数 5,000 名を下回る様、入退場管理を実施。  
来場者に対し、原則 Web 事前登録を採用、来場日・時間帯ごと（1 時間約 1500 人で設定）による制限を設け、出入り口では、来場者チェッカーカウントを実施し人数を把握。  
出展者・関係者に対しては、出展者・関係者入口、出口にて入場者・退場者をカウントし会場内の人数が上回りそうな場合は、入場制限を実施
- ・大阪府の「コロナ追跡システム」を導入
- ・サーモグラフィーの設置および入場口での全員検温の実施：  
37.5 度以上の発熱や感染の疑いがある不調がある場合は、入場をご遠慮いただきます。
- ・隔離室の設置と看護師の常駐
- ・出展者・来場者ならびに会場スタッフのマスク着用
- ・各号館入口・トイレ前、ならびに、  
共用スペース（ラウンジ、商談スペース、ゲート、総合インフォメーション）に消毒液を設置
- ・展示会場内及び付帯施設における、距離確保のための待機マーク（1m 間隔）の設置
- ・展示会場内通路幅は、通常 2m のところを、3m 以上を目安としたレイアウトに変更
- ・展示会場内で実施するセミナーにて、聴講希望者の Web 事前登録を採用  
講演者演台にアクリルパネルを設置、席の間隔を 1m 以上あけ前後交互に配置、セミナー会場壁面の密閉度を減らす密を避けるレイアウトに変更
- ・巡回清掃、消毒の徹底
- ・なお、今後、緊急事態宣言が再度発出されるなどの状況が生じた場合には、  
最新の情報をもとに開催延期などの措置についてご案内することがあります。